



## 第20回中央大学ホームカミングデー終わる

2010年の創立125周年を前に、一足早く20回の節目を迎えたホームカミングデー。色づきはじめて木々を背景に、多摩キャンパスには傘と笑顔の花が咲きました。

▶皆さん、よく戻ってきてくださいました  
雨は止みそうもないが、空を心配そうに見上げる顔もない。それに反してペデ上の歓声だけは“こだま”している。インフルエンザの流行が心配されているにもかかわらず、マスク姿も少ない。中央大学卒業生の意気は、それほどに燃えた一日でした。

卒業生の“祭典”—第20回中央大学ホームカミングデーが10月25日、盛大に行われました。久野理事長の挨拶に続き、永井和之総長・学長の「皆さん、よく戻ってきてくださいました」の第一声は、卒業生の心に響いたのでしょうか。会場の拍手がしばらく鳴り止みませんでした。この日のセレモニーでは先日、法務大臣に就任した千葉景子議員(昭和46年法学部卒)が紹介され、「私の原点は中央大学で学んだこと。質実剛健の校風が私の精神になっています。中央大学がますます発

展するようになり、しっかり尽くしていきたい」と、母校にエールを送りました。

### ▶昔の白門の前で写真撮りたい……

開会式場であるクレセントホール横の坂道をカサの行列が続く。旧お茶の水校舎から桜広場に移築された南門の一部は現在「桜ステージ」と呼ばれ、卒業生たちは「白門」のイメージにこれを重ね、懐かしがります。勢ぞろいするのは、20年前前に卒業した群馬県の卒業生たち。

「やっぱり、この白門の門柱をなでていかないと…」とポツリ。きっと万感胸に迫るのがあったのでしょうか。

### ▶〈展示企画〉立体人形、ジオラマ展示

八王子市東中野といえば、「誰もも聞いたことがある」と思われるでしょう。中大生なら、なじみがあるはずで

多摩キャンパスの所在地である八王子市東中野を舞台とした、江戸後期の物語を日野市郷土資料の協力で、立体紙芝居やジオラマ型式で当時の様子を再現したものです。地元のご婦人40人が「勝五郎生まれ変わり物語(探求調査団)」の名前で活躍中です。

このほか、約18の展示と模擬店、49の講演会企画があり、雨天にも関わらず、総勢約3,800名の参加者がありました。来年はいよいよ、中央大学創立125周年記念です。

式典の日程は11月13日に決定していますが、企画詳細は未定。

12月10日に本格オープン予定の「創立125周年記念公式サイト(11ページ参照)」にて、決まった企画からどんどん、皆さんにお知らせしますので、ご期待ください。

